

內外新報

第十七號

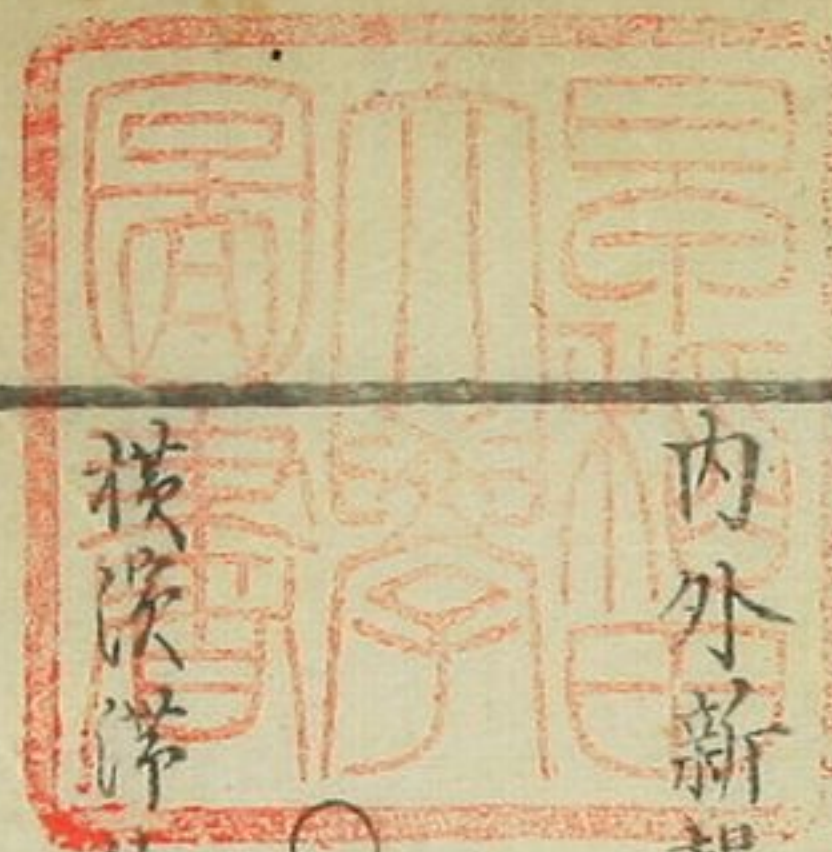
定價八分

西垣文庫  
文庫 10  
7352  
1





特 文庫10  
7352  
1



内外新報第十七號

慶應四年閏四月二十日

○同日二月出板タイムス新聞抄訳  
横濱洋行の商報

英吉利船九艘

亞墨利加船八艘

同國船脚船七艘

普魯士船五艘

荷蘭船三艘

英國船脚船七艘

船名クレートリパブロック

船名ケンジス





日港洋泊し軍艦

英國軍艦 三艘

一 フォルム 大砲二門 臥百三十六頓 六十馬力 形船

ゴンボート

一 プナッポ 大砲二門 日希 日希 日希

一 ラッラル 大砲十七門 九百五十頓 三百二十馬力

形船 コルフエツト

形船 コルフエツト

一 ヴエノス 大砲廿二門 二百頓 二百馬力 形船 コル  
フエツト

一 ゴイラン 大砲四門 二百頓 二百馬力 形船 同右

英國軍艦 三艘

一 モノカシ 大砲十門 二百十九頓 二百馬力

形船 ゴーボート

一 ストーンテール 大砲二門 二百頓 形船 スチー

ムラム

一 イロコア 二百十九頓 二百五十馬力 形船 コルエツト

英國軍艦 一艘

一 キユラッコ 二百頓 形船 コルフエツト

○同日月三日出帆は船よりの来状



一昨二日卯方 官軍方八幡所より北へ不脱走方中山  
 村法花屋より打出し引つゞき市川村迄ありて戦  
 又お成り同村兵火ありて焼失ありて同村より去  
 向路の基を介縁が菅菅野迄ありて戦ありて 官軍の  
 人殺退りし操出しありて高村より西通河原村に  
 阿あ人殺陣より脱走方船橋乃中途に出張系木村  
 二候村海科村等にて是より戦ありて不脱走  
 官軍方又同村より人殺し中より海原より船橋と  
 船橋宿浦に是より日下より大砲ありて時日より時終  
 夜の戦より同宿より八幡所迄ありて焼失ありて

し打続き合戦休むるふく今日も不脱走の宿中より付  
 来りて決意の勝敗をおもひては高村の戦場の志中より  
 ていまだ兵火ありて是より不脱走の宿中より  
 成りて難計一日為水と踏むる地より是より

○同宿宿風岡書

二日午八時以松戸に着て 官軍星山勢百女入夜  
 曉七時対以八幡所より市川村に操出し脱走方市川  
 新田腹切地帯より不脱走より小銃打ち 官軍市川を  
 不脱走より新宿に引上ケル中市川宿不脱走より官軍が  
 大砲脱走勢ありて小銃を打ち合はれありて船橋



の方より去所置回勢と戦年

一 脱走方の船橋より二ヶ村先ある大久保村へ人殺引  
こひよし

一 同日夕七ツ時以夜貴勢市門を渡り大砲二門人殺凡  
そ二百人程あり八幡所は標出し市門新田通形

一 周知ありて又佐去系人殺二百人許松戸宿は一泊翌  
曉七ツ時以強ヶ若宿へ出張し不夏同村より脱走方  
怪我人多及治又有るゆゆども勝敗の義ハハ手どお  
かり不ヤ

一 同日夕七ツ時以松戸令町冥下へ徳勝人殺お固め  
一日渡し船止る五日船通形とある

○同日月六日出板タイムス新聞の訳

江戸よりわの方又おむく去る日曜日即ち戦年同日  
三日戦年よりし戦の起りし地ハ江戸より四里の内  
ありと云ふ

いまご世戦年の善細ハおふらば志らし今又由報告  
何んとかめをる○去る日曜日の新江戸かよび近  
直と相々所の出火より高塔より由生火より見え左  
王



○  
 式人の活しは英人「ハルトリ」ハ當時大坂へおち打  
 き江戸堀二丁目へ入かつや所あり警部西田氏の  
 許より居し警を以て業と以てかこつて船東の系を以  
 き多ふりある時「ゴム」の節と多く仕入是こそ一程の  
 氣を單めに以て檢とありきこの系を以てこれを室中又  
 贈け糸の末を以て持ち繁むの所くと持寄きるに  
 親る若群とあり金を出しそとを以て買とんと望む若  
 多し故に大又利を以てたりと亦善く人氣を撰るるに  
 由と以て和浩又由亦よく通を近隣の小児及又集

ハルサンハルサンと心易きよ來るよふを無勢  
 のあり由よく是又善ふとを實又一時人と以てふ  
 ○親ありぬ牙以し侍まど世も静らありざるは  
 時代を以て夕あがたむりよめる  
 ありそそはあびきむやうは枝やうて風まうごうぬ  
 青柳の蔭

○正月晦日出尾お宮宿より來状亦七日出と  
 以て本音落福袴表よりのお打あくる來りい  
 よし  
 脱走方の電あくる凡そ六百人もど越後路へおし來り



日々人殺おまし越後幣と戦年又おありまより佐由  
版山城主本多相抄作人殺と戦年と是より版山沼坂  
古城と申せしり日圓根本原分まが先手押来りし由  
由と申尾抄由原分は向ひしおど申難計敗又今日大  
由當願其外二高之三高まが由搦出し佐由山原分由  
圓山山を向又お成りし

○孫生の以世の申すはまがかりを能は  
世まのよりの孫此山をめぐりきくかひもあくあるぞ  
まがかりき  
よも人志しん



